

令和2年度（2020年度）
事業報告書



社会福祉法人 敬天会

令和2年度(2020年度) — 事業報告書 目次 —

総括と課題	1	～	1
I 法人本部及び総務課	1	～	17
II 障害者支援施設さちかぜ（施設入所支援・生活介護事業）	18	～	21
III 障害者支援施設さちかぜ（短期入所・日中一時支援事業）	22	～	22
IV 障害者支援施設さちかぜ（就労継続B型支援事業）	23	～	24
V 地域支援さちかぜ（就労移行支援事業）	24	～	24
VI 満天ハイツ（共同生活援助事業介護サービス包括型）	25	～	25
VII クリエイティブサポートくじら（放課後等デイサービス）	26	～	27
VIII 共生型地域自立支援センターたたえ	28	～	29
IX 生活支援センターさちかぜ（相談支援事業）	30	～	31
X 保健看護分野	32	～	33

総括と課題

2020年は、新型コロナウイルス感染症拡大により、先行きの見通しも立たないまま新しい年を迎え、未だ国民生活に大きな影響を与えた。法人設立50周年記念式典開催も中止とせざるを得ない状況となった。

また、2016年に起きた障害者施設殺傷事件の裁判では、死刑判決が下されたものの、国民の生活に根付いていると考えていた『生命の尊厳』の理念は、大きく揺さぶられ人々の喪失感を埋める手立てとはならなかった。

法人としては、コロナ禍の中で薄められがちな人間関係(家族間・利用者対職員)の絆を結び合うことと感染予防対策の徹底を大きな目標に掲げ、支援の強化、地域活動、人材の育成を推進した。

令和2年の推進目標に対しての評価は以下のとおり。

- ① 「利用者・保護者の満足度調査」(令和1.9月実施)と従来提供サービスとの差異を検証し、改善調整を図るとともに、新規サービス事業計画を進める。
 - ▶**重度高齢化に対応した福祉サービスの強化と地域生活への移行を一層推進するために、国の方針に沿って、日中サービス支援型グループホーム晴町と地域生活支援センターはるまちの建設に着手した。**
- ② 共生社会づくりの社会資源として、地域の福祉課題等の共有・改善等の連携を進める。
 - ▶**かごしまおもいやりネットワーク事業への積極的な参画と活動を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う各種対策補助を活用し、施設整備を行った。**
- ③ 働きやすい職場環境を整え、職員のキャリアアップ・次代を担う福祉人材の確保・育成を進める。
 - ▶**自由でおおらかな法人の風土が醸成され、経営理念に沿った活動を展開した。**

社会福祉法人敬天会 経営理念

あなたの人権と尊厳を大切にします
誰もが支え合う地域の力となれるよう努めます
あたたかい社会づくりに努力と研鑽を続けます
活力と透明性のある経営を目指します

I 法人本部及び総務課

1 評価

- (1) 「働き方改革」(時間外勤務の抑制・仕事と家庭生活のバランス確保・高齢者の活躍等)及び「福利厚生」制度の充実により、魅力ある職場づくりを目指す。
当法人で働く方々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で「選択」できるよう勤務メニューを多様化し、人材確保と生産性の向上を図る。
(令和2年3月1日現在で職員は109名)
 - ▶**主体的に働く意識が醸成され、活気ある職場風土ができつつある。**
(令和3年3月1日時点で職員数は119名)

- ・ユースエール認定，くるみん認定が更新され，4年目を迎えた。
- ・昨年度実績 有給消化：13.0日/73.4%，時間外労働月平均：1.7時間以下。
- ・令和2年度，育児休業者3名（男性/1ヶ月，2週間，12日間）1名（女性/休業中），介護休業者1名取得。
- ・休業者には休業前，復帰前に面談を実施し，不安をできるだけ軽減して仕事と家庭生活が両立できるように休業，復職できる体制をとっている。
- ・人材確保においては，これらの蓄積や見える化が重要と考える。
- ・新事業整備，人材を育成，評価する仕組み，配置方法の検討。
- ・将来の役職者育成のための役職候補者研修をスタート。
- ・緊急事態宣言により，在宅勤務を実施。また，オンラインを活用した面談，会議，研修等を実施し，柔軟な働き方を検討し実施した。
- ・時間外勤務時間数の減少。
- ・魅力や活気がある職場づくり。即，対応したコロナクルーナ，MVG等。
- ・離職率減少（R2年度7.3%・R1年度10.8%・H30年度13.2%/全国平均15.4%）
- ・退職者の再雇用（5名）
- ・GH食事提供方法をナリコマに変更し，職員1人当2～3時間の業務効率を図った。

- (2) 2015年に国連サミットで採択され，2016年から2030年までの15年間で達成するために国際社会共通の目標として掲げられたSDGs（エスディーゼズ：持続可能な開発目標）の17項目の目標に対して，法人ワンチーム体制での取組み，特に，貧困や飢餓，健康や福祉など福祉に関連する推進項目には，積極的に関わっていく。
- 残り10年の取組みを検討し，事業計画に落とし込んだ。

- ・法人HPに「**keitenkai**×SDGs」として，法人事業とSDGsの関りや取組みをお知らせページを作成し，職員へ周知した。
 - ・下記の各項目の詳細は，各取組み事項に記載する。
- 1 貧困をなくそう**
 - (1)福祉に携わる職員の給与水準の向上を目指す！
 - 2 飢餓をゼロに**
 - (1)パン製造・販売，農作物生産の過程で発生する規格外の品を地域の子ども食堂などへの提供。
 - (2)管理栄養士によるご利用者への栄養管理マネジメントの提供。
 - 3 すべての人に健康と福祉を**
 - (1)福祉を必要とする方々に対する相談支援体制の充実。
 - (2)「かごしまおもいやりネットワーク」への参画。
 - (3)「学校安心メール」への協賛。
 - (4)顧客満足度調査の実施。
 - (5)障害福祉サービス，介護保険サービス等，各種サービス提供の質の向上。
 - (6)職員健康診断，メンタルチェック，インフルエンザ予防接種，腰痛予防検査の実施。
 - (7)職員に対する病気や怪我により万が一働けなくなった場合の生活面でのサポート体制の充実。
 - 5 ジェンダー平等を実現しよう**
 - (1)「えるぼし認定」取得等，女性の活躍推進に関する取組み。
 - (2)「くるみん認定」更新等，出産・育児等に関する取組み。
 - (3)「たちばなこどもランド」との企業連携による，働き続けられる職場づくり。
 - (4)ハラスメント防止への取組み及び職場内アンケート実施。
 - 8 働きがいも経済成長も**
 - (1)「社労士診断認証制度」取得等，関係労働法令の遵守に関する取組み。
 - (2)「ユースエール認定」の更新等，雇用管理状況の更なる改善に関する取組み。
 - (3)内外研修や各カテゴリーの会議などによる職員の育成及び組織体制の強化。
 - (4)職員満足度調査の実施。

2 取り組み事項

(1) セルフ・キャリアドック制度導入

職員ひとりひとりが社会や組織の変化を先取りする形で変革に対応し、持てる力を最大限に発揮していくために、自ら主体的にキャリアを考え構築していく必要がある。セルフ・キャリアドックとは、キャリアコンサルティングとキャリア研修を組み合わせる職員キャリア形成を促進・支援することを目的とした総合的な取り組みのこと。

職員の職業能力の開発および主体的なキャリア形成を図るために、全ての職員にキャリア研修を行い、ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングを定期的実施し、継続的なフォローを行っていくセルフ・キャリアドック制度を導入する。

- ・ジョブ・カード作成とキャリア研修を定期的実施し、その後キャリアコンサルティングを実施している。その他フレッシュからミドルに階層が変わった職員や休業から復帰した職員などにも実施した。
 - ・自分自身の価値観や仕事人生を振り返る習慣を身に付けられるよう、自己理解を深めるためのふりかえりWS研修を複数回実施し、働くことの意味を明確にすることを目標とした。雇用継続に繋がり、離職者減数へ反映されていると考えられる。
- 【内外部研修参加状況】
- ・外部研修参加件数 56 件・延べ参加人数 116 名
 - ・内部研修企画件数 23 件・延べ参加人数 613 名
- 【新規資格取得者数】
- ・精神保健福祉士 1 名
 - ・介護福祉士 6 名
 - ・強度行動障害支援者養成研修 基礎 21 名・実践 23 名
 - ・各種サービス管理責任者 更新 4 名
 - ・認定特定行為業務従事者（たん吸引）取得予定者 2 名(実技未受講)
 - ・介護福祉士実務者研修修了 4 名
 - ・日本知的障害者福祉協会主体の「知的障害を理解するための基礎講座」通信教育 7 名受講
 - ・日本知的障害者福祉協会主体の「知的障害援助専門員」通信教育 2 名受講
 - ・職員の資格取得をサポートする資格取得支援金貸付制度を利用 5 名

(2) 社労士診断認証制度取得

労働社会保険諸法令の遵守や職場環境の改善に積極的に取り組み、企業経営の健全化を進める企業を社会保険労務士が診断・認証する制度。

法人の労務コンプライアンス等における更なる信頼性の向上や人を大切にする法人であることを在職者、求職者に対して強くアピールする事が可能となるため、今年度、3段階中2段階の認証取得を目指す。

- ・職員就業規則、契約職員就業規則、給与規程、育児・介護休業等規則、ハラスメント防止規程を委託先である井之上社会保険労務士事務所に提出し、再度規程の確認中。
- ・3段階のうち、1段階はクリア。次段階の認証待ち状態。

(3) えるぼし認定取得

一般事業主行動計画の策定、届け出を行い社内周知、外部公表を行っている、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況等が、優良な事業主に認定される制度。

法人内の女性職員の活躍に関する状況の把握と課題分析を行い、2年間の計画を立て、課題の改善に向けた取り組みを行う。

- ・くるみん認定と一体となった一般事業主行動計画を策定し、鹿児島労働局に提出済、2年計画のうち1年目が経過。引き続き、掲げた目標をクリアしていく。

【次世代法】

目標① 男性の育児休業取得向上(目標1名以上)を目指すことで、男女問わず、職場全体で育児休業が取得しやすい風土を醸成する。

- ・育児休業取得→男性 3 名/1 ヶ月、2 週間、12 日間、女性 1 名/休業中。
- ・社会全体の性別役割分業意識を薄くするために、男性の育休取得を『当たり前』のこととして、制度や様々な情報を提供し、職員がワークライフバランスを保て

るような風土づくりを推進。

- 男性の育休取得体験談をあいらびゅーFMで放送。後日、別番組(子育てラボ/男性二人で子育てについて語り合う番組)でも、この内容を一部再放送している。リスナーから「楽しみにしている」という声が届いている、と報告もあった。職場内にとどまらず、男性の育休取得についても情報発信に努めている。

目標② 育児休業等を取得し、または育児を行う女性労働者が就業を継続し活躍できるよう、能力の向上、キャリア形成のための取組を行う。

- 年末に育休取得した女性職員には、妊娠がわかった時点を記録し、仕事の引継ぎの段取り、上司や同僚に体調の変化を伝えられる体制、本人のメンタルサポート等々、ともに考える体制づくりを進めた。
- 全職員が、出産、子育て期、介護等に入る以前に、働き続けられるイメージを持てるよう、キャリア形成のためのジョブ・カード作成研修、キャリアガイダンス研修を実施した。

【女性活躍推進法】

目標① 誰もが安心して働き、女性が活躍できる職場であることについて、ホームページやインスタグラム等を活用し、積極的広報を行う。

- 学校安心メールの協賛事業に協力し、法人のPRや職員募集、広報活動を行ったことが、相談支援課への相談件数増加に反映されていると考えられる。

目標② 職員の定着を図るため、正社員の男女ともに、平均勤続年数を8.5年以上とする。

- 令和2年3月末で、8.38年。現在、7.9年。目標値との差異は0.6年。

【取り組み内容と分析】

- 顧客満足度調査の実施(7月)→実施済み
- ハラスメント調査の実施(8月)→実施済み
- 50周年記念式典にて永年勤続者表彰を行う(11月)→仕事納め式にて実施(12月)
- 職員満足度調査の実施(12月)→実施済み
- 短時間勤務措置の年齢制限(就学前まで)の検討(2021年1月)→引き続き検討

(4) イクボス同盟

NPO 法人ファザーリング・ジャパンが主催するイクボス(中小)企業同盟に加盟。加盟条件は、①ダイバーシティ経営の推進を行っている、これから行おうとしている、②管理職の意識や働き方改革を模索している、③経営トップがそのことに理解があり、経営戦略としてコミットしている。

- 加盟条件はこれまで法人が推進してきている内容であり、事業計画1(1)や2(1)などのように既に経営戦略としてコミットしている。
- NPO 法人ファザーリング・ジャパンの取り組みが厚生労働省の“イクメンプロジェクト”の中に入ったため“イクメンプロジェクト”の、“男性の育休に取り組む”『イクボス宣言』と『イクメン企業宣言』に宣言を登録。イクメンプロジェクトHPに宣言をアップした。

【イクボス宣言】

社会福祉法人敬天会 大友良治 理事長



イクボス宣言

私は、子どもたちの成長を喜び、休業取得を促進し、職員と職員の家族をサポートします。

2020/12/26 11:39

【イクメン企業宣言】



- ・育児休業取得→男性 3 名/1 ヶ月, 2 週間, 12 日間, 女性 1 名/休業中

(5) 顧客満足度調査, 職員満足度調査等アンケート実施

昨年度, 初めて顧客満足度調査, 職員満足度調査を実施した。調査で得られた結果を法人運営に活かすと同時に, 引き続き, 満足度調査をはじめとしたハラスメントや虐待防止, 地域ニーズなど様々な内部外部情報の把握に努める。

- ・6月各カテゴリーの会議において, 7月実施予定の顧客満足度調査に関する質問項目等を検討している。事業計画どおりに実施する。
 - ▶実施済み。集計結果は, 8月の職員会議にて資料配布済み。
- ・顧客満足度調査結果, 対象者のうち, 64%が「満足」・「やや満足」との回答であり, 一定の評価を頂けた。

日頃の電話連絡による報告の他, ご利用者が施設でどのように過ごしているかに興味をもたれるご家族等が多かった。SNS を活用してより分かりやすく伝える動画での連絡手段を整備した。
- ・職員満足度調査結果, 回答率 85%, 満足度 3.6 (最小 0.0/最大 5.0), 平均 3 以上となり, 昨年度よりも 0.3 上昇した。上昇した要因は職員数が 11 名増加したこともあるが, 20-70 歳代いずれも平均 3 以上となり, 様々な年代にとって働きやすい職場となってきたことが窺える。各種制度をはじめとした職場環境など外面部分は評価する意見が多い一方で, 職員のスキルや業務遂行能力, 役職への組織運営など内面部分に不安をもつ意見も散見された。引き続き, OJT や学ぶ機会や学ぶ質を強化し, 能力向上と定着を促していかなければならない。
- ・ハラスメント調査結果, 回答率 84%, 携帯で回答(匿名)できる LINEWORKS アンケートを活用して回答率(昨年度 60%)が上昇した。約 20 名の職員から回答がなく興味を示さない職員も一定数いることがわかった。その分ハラスメントのリスクは高まるため, 回答率を高める工夫が今後も必要。答える人によって質問に対して思い浮かべる対象(上司, 同僚, ご利用者等)が様々で, 対象の的を絞ることで, より具体的な実態が把握できる確に対応できる可能性が広がるなど, 調査の実用性を更に高めていく事が今後の課題となった。
- ・虐待防止調査結果については, 回答率 85%, 虐待防止・人権擁護については法律に関する事やアンガーマネジメントなど内部研修等を積み重ね, 支援者として当たり前心がけ利用者支援に従事している。それと同時に日々葛藤の中で業務を行い, 自問自答を繰り返すケースも少なくない。人と人なので, どこから虐待・人権侵害など基準はない。大事なことは, それを話し合える機会がある職場, 組織であると考えています。

(6) SDGs (エスディーゼーズ: 持続可能な開発目標) への関り

「誰一人とり残さない」ことを理念としており, 心身の豊かさを享受し続けられる社会の実現を目指している。この国際社会共通の目標に対して特に社会福祉法人では, 「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」「ジェンダー平等を実現しよう」等, 福祉に関連する目標と密接に関わっているため, 「keitenkai×SDGs」として目標達成に向けた取り組みを推進する。

- ・各取り組みを参照
- ・オンラインによる研修, 会議, 面会等の取り組み。
- ・オンライン上のイベント参加 (3/6 ホワイトトリボンラン 2021)

・加治木高校購買部への参入の検討から、令和3年4月からの事業開始への準備。

- (7) 社会福祉法等各法令に基づいた適正な事業運営及び財務規律の強化に努めると共に、法人・施設の「見える化」を引き続き推進する。

・法人HP更新、Instagram更新211回
・学校安心メールを活用したアンケートや名刺のパンフレット化を図る。
・あいらびゅーFM『ハッピーウィンド』毎週木曜放送
・法人内での各事業課の活動報告を掲示物や LINEWorks を活用し、情報提供。
・社会福祉法に則り、理事会・評議員会の適正な運営に努め、令和元年度事業報告書及び決算報告書、外部監査報告（会計）等の事業運営・財務状況を法人HP（ホームページ）等で公表した。

- (8) 法人設立 50 周年記念式典の成功とこれからの発展と継続に向けた取り組みを推進。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、今年度式典は中止とした。来年度以降の開催を模索し、記念品や記念誌など進められる項目は引き続き検討している。

3 事業内容

- (1) 第一種社会福祉事業の実施

・ 障害者支援施設 さちかぜ 施設入所支援事業

- (2) 第二種社会福祉事業

・ 障害福祉サービス事業の経営

生活介護事業

就労移行支援事業 就労継続 B 型支援事業（多機能型）

指定短期入所事業所

・ 相談支援事業の経営

生活支援センター さちかぜ

指定障害児相談支援事業 指定特定相談支援事業

障がい者相談支援事業 障がい児等療育支援事業

・ 老人デイサービス事業の経営

共生型地域自立支援センター たたえ

地域密着型通所介護 介護予防・日常生活支援総合事業

・ 障害児通所支援事業の経営

クリエイティブテサポート くじら

放課後等デイサービス

- (3) 公益事業の実施

・ 障害者日中一時支援事業

・ 有料老人ホームの経営

4 防災計画

1 評価

定期的に様々な場面を想定した訓練を実施し、日頃からの職員・利用者へ防災への意識を持たせる。また、災害時における職員全体に対する迅速な情報発信及び共有、要援護者の支援体制や他部署との連携を訓練することで、防災強化と課題の抽出に努め、地域との関係構築や行政との協定を模索し、防災計画を進める。

- 防災については、様々な場面を想定した訓練を想定していたが、去年同様新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により、大勢の方が集まり蜜となる全体での訓練はせず、各事業所での小規模な訓練の実施を行っている。各事業所で細かく訓練を行う事により、新たな課題や教訓を得ることが出来た。
- また、BCP（事業継続計画）の一環として、災害避難後の生活を想定した指導を行っている。避難後、食事の提供はどのように行うのか、水や食料の場所の把握等、災害時に慌てずに行動できるよう今後も継続して伝えていく。
- 防犯については、新型感染症の影響により全事業所を対象とした訓練が中止となった。
- 新任職員に対する研修やOFF-JTの機会も利用し、防災・防犯の基礎知識の指導を行っている。
- 2021年1月29日11:20くじら横ヤギ広場にて、枯れ草の焼却を行っていた際、火が強風により延焼し、職員総出で消火活動を行う事態となった。数分後、消防隊到着時には鎮火されており、大きな被害は出なかった。枯草の焼却処分を今まで安直に行っていた部分もある（消防署に「火災と紛らわしい煙又は火災を発生おそれのある行為」の届けは提出していたが）為、今回の事例で、防火・消火活動の課題点を解決するにあたって、良い教訓になった。今後、草木等の処理は廃棄物処理場にて廃棄するよう職員全体に周知徹底を行い、今回の事例を訓練や研修、OJTで活かせるよう取り組んでいく。

(2) 訓練状況

実施年月日	実施内容	対象事業	協力団体
6月27日(土)	避難訓練（日中地震避難訓練）	発達・相談支援課	自主訓練
6月30日(火)	避難訓練（大雨想定垂直避難訓練）	入所介護課	自主訓練
8月15日(土)	避難訓練（休日夜間想定火災想定訓練）	共生課	自主訓練
9月17日(木)	避難訓練（地震・津波想定訓練）	共生課	自主訓練
9月22日(火)	避難訓練（日中火災想定訓練）	発達・相談支援課	自主訓練
11月11日(水)	避難訓練（日中による火災想定）	入所介護課	自主訓練
11月26日(木)	避難訓練（火災訓練ブラインド）	共生課	自主訓練
12月12日(土)	避難訓練（日中による火災想定訓練）	地域生活・就労課	自主訓練
12月18日(金)	避難訓練（夜間休日火災想定訓練）	地域生活課	始良消防本部
1月30日(土)	避難訓練（夜間休日火災想定訓練）	入所介護課	始良消防本部
2月20日(土)	避難訓練（地震津波想定避難訓練）	地域生活課	始良消防本部
3月15日(月)	避難訓練 （地震津波想定訓練・加音ホールへ避難）	入所介護課	自主訓練

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止策により、2020年12月まで訓練での消防立ち合いはなし。

※ 全体での合同訓練が実施できなかった。

(6月 大雨想定垂直訓練時写真)



(3月 地震津波想定避難訓練時写真)



5 防犯計画

1 評価

ご利用者が地域の中で安全・安心して生活できるように日中及び夜間における施設の体制、職員間の連絡を含めた緊急時対応の訓練を行い、警察・自治体と連携を図り防犯への備えを図る。

➤コロナ禍の状況下で、複数の事業所が合同で訓練を行うことを躊躇し、実施できなかった。防犯に関する動画を作成中であり、活用して職員に周知する計画を企画中。

(2) 取り組み

- ① 不審者から身を守る方法について、防犯機器の使用方を理解する。
- ② 不審者が施設内に侵入した場合の初動対応と利用者の避難誘導方法を学ぶ。
- ③ 始良警察署による、さちかぜ構内巡回パトロールの継続的な実施。

➤訓練の実施は難しい状況であったが、新任職員研修内の防災についての研修を利用し、職員への周知を行った。(さすまた等の使用方法を体験)

(3) 年間計画

	実施事項	対象者	実施内容	備考
4-11月	防犯訓練 中止	各事業所	日中における不審者への対応と各事業所間並びに警察との連携について学ぶ	自主訓練

6 苦情・相談

1 評価

①保護者等の苦情・相談には適切に対応すると共に、利用者の要望や意見等を常に意識し、提供するサービスの質の向上に努める。

➤令和2年度の相談・苦情の受付は16件（令和元年度17件）であった。内訳は、相談11件・苦情5件。なお第三者委員への申し立てはなかった。

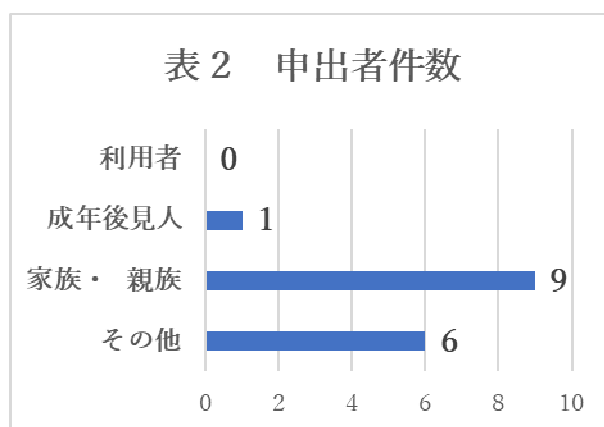
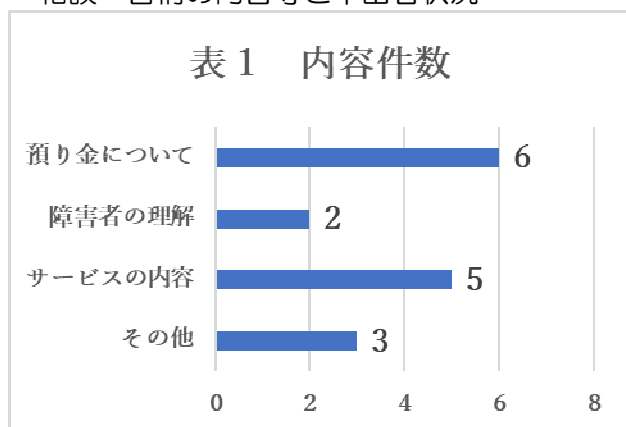
②苦情・相談に対応する体制を強化し、誠意ある解決に努める。

➤相談について、家族・親族からは7件の申し出があった。主な内容として「娘（利用者）のお金を借りる・使用できないか」等の預り金に関するものが5件、「地域への障害者の理解」に関するものが2件あり。いずれも、ご家族の気持ちの理解、施設としての立場の説明と理解、公的機関へ繋げること等、解決を図っている。

③内・外研修参加や各事業所での苦情・相談の情報共有と活用を強化し、受容（傾聴）し共感する姿勢や適切な対応のできる職員として、法人の信頼性を担う職員としての人間性と社会性の向上に努める。

➤苦情について、さちかぜ2件・就労B型2件・就労移行1件・満天ハイツ2件。（保護者から4件、マテリアのお客様より2件、取引業者から1件）早急に原因究明と再発防止に努めることができた。

相談・苦情の内容等と申出者状況



7 リスクマネジメント（事故報告）

1 評価

- ①職員の危機意識の高揚に努め、職場・職員としての自己責任注意義務の意識や事故回避の目配り・気配り、支援技術の向上で事故防止、再発防止に取り組む。
- ②事故の検証を重視し、利用者の生活環境や状態の把握、職員体制・配置、職員の判断・知識等から原因の把握と再発防止に取り組む。
- ③感染症対策として、職員における感染症対策の啓発・出勤停止期間基準等の明確化・職場環境の整備に努める。
- ④各事業所で発生した事故の報告と検証・分析結果等の情報の周知に努める。
 - ▶令和2年度の事故件数は55件となった。令和元年度は53件であり、昨年より件数は微増している。
 - ▶事業所別の件数（表1参照）としては、さちかぜ施設入所39件（前年度比-2）、満天ハイツ4件（前年度比+3）、たたえ7件（前年比±0）、くじら3件（前年度比+1）、就労2件（前年度比±0）、総務・相談は0件であった。
 - ▶発生場所（表2参照）は、屋内（廊下・ホール等）が18件と最も多い。
 - ▶事故内容（表3参照）は、転倒19件（昨年比-4）、誤薬8件（昨年比-8）となっている。昨年度の反省を踏まえ、支援方法・マニュアルの見直し等の対策に取り組んできた結果がでている。
 - ▶一方でトイレでの滑落・転倒（7件）については、昨年度と同様。他利用者への見守りや支援など、目を離した僅かな時間にトイレの横に滑り落ちるという状況がある。転倒について、てんかんなど病気・利用者の運動機能の低下等に起因するものや、居室などプライベートな環境での事故が多く、職員が見守ることができないケースが増えている。
 - ▶曜日別（表4参照）・時間帯（表5参照）について、食事支援・排泄支援など、利用者の支援が集中する時間帯での事故が多いが、昨年度に比べ、偏りがなくなっている。



表2 発生場所件数

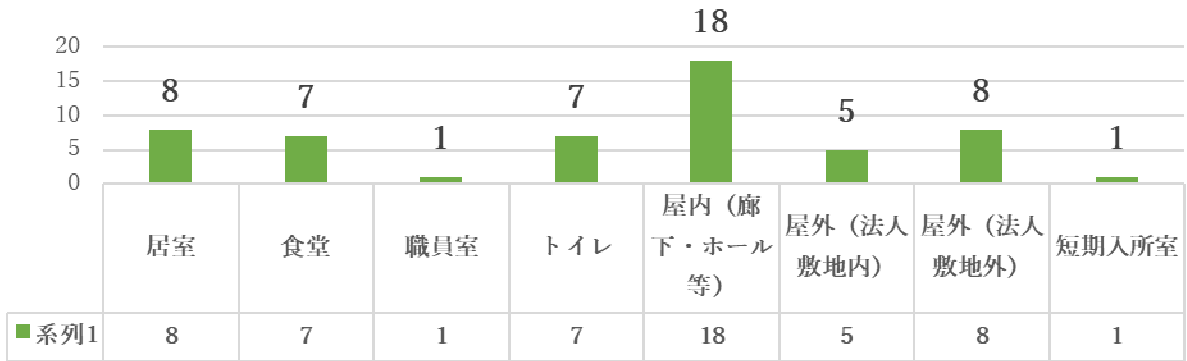


表3 事故内容 件数



表4 曜日別件数

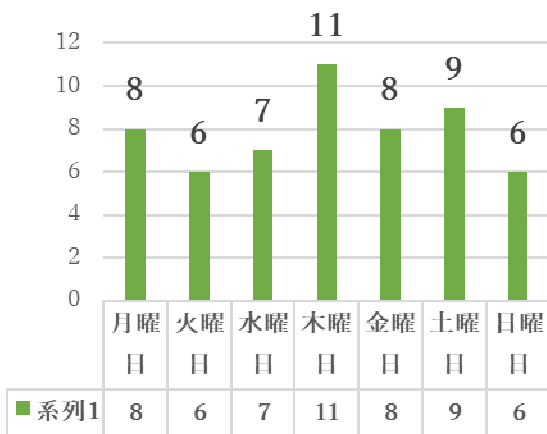
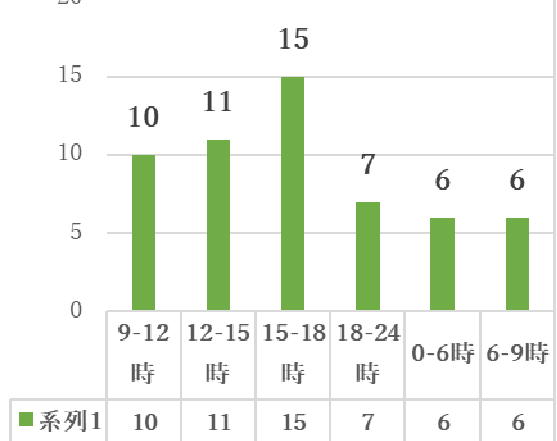


表5 時間帯別件数



8 年間計画

月	事業内容	月	事業内容
4	全体職員会議・辞令交付 施設親善球技大会 新ひまわり会—総会 春の全国交通安全運動・地域安全運動 「ユースエール認定」更新申請 「くるみん認定」更新申請	10	始良・伊佐地区わくわくスポーツ大会 内部監査（預り金・各事業） 秋祭り、錦江校区運動会 第2回介護福祉士実務者研修教室開講 虐待防止人権擁護アンケート実施
5	鹿児島県障害者スポーツ大会 決算監事監査及び所轄庁への報告 監事監査・公認会計士外部監査 鹿児島県防災訓練（始良市）	11	集団検診（全利用者・全職員） 公認会計士外部監査 （内部監査経理部門を外部監査とする） 法人設立50周年記念式典 敬天会 忘年会 年間 MVP 等各種表彰
6	社会福祉法人現況報告書等提出 資産総額変更の申請（法務局） 理事会開催（決算・事業報告等） 定時評議員会開催（決算・事業報告等） 来年度新卒者求人票提出 錦江地区コミュニティ協議会 始良市福祉運動会 預り金報告	12	仕事納め式 令和2年 年末調整 預り金報告 職員満足度調査実施
7	地域合同運動会 社会保険月額報酬算定基礎届 顧客満足度調査実施	1	仕事始め式 錦江地区コミュニティ協議会 給与支払報告書・法定調書届
8	施設職員親善球技大会 第1回介護福祉士実務者研修教室開講 ハラスメントアンケート実施	2	社会福祉法人監事等研修 令和3年度事業予算・計画協議
9	錦江地区コミュニティ協議会 預り金報告	3	理事会開催（新年度予算・事業計画等） 鹿児島学園龍桜高校—交流会 契約職員新年度更新に伴う面談 36協定届出（加治木労基） 預り金報告

9 年間研修計画

■新任職員

新任職員研修	採用時に実施する研修
目的と内容	<p>未経験、中途採用に関わらず、当法人の経営理念、経営方針、人材育成方針、人材育成目標を伝え、社会福祉法人に求められる役割や社会的意義の理解を深めるため、新規採用職員に対して実施する。在職職員に対しても、必要に応じて実施する。</p> <p>◇別紙参照（事業計画最終項）</p> <p>◇キャリア研修とジョブ・カード作成とキャリアコンサルティング</p> <p>◇外部研修（新卒者、社会人経験2～3年の方、希望者対象）</p>

- ・受講者 18名（内1名退職/期間の定めのある雇用）
- ・ほぼ未経験の方に対する研修であり、研修内容の情報量が多いことから、8月からの新任職員研修は、一日1項目の研修スケジュールに変更した。余裕を持った学びの場を提供し、不安の軽減に繋げていく配慮を行った。
- ・『社会福祉法人敬天会について』『就業規則』『障害福祉サービスについて』『相談支援事業について』の研修は、在職職員も対象として実施し、繰り返しの周知を行った。
- ・様々なバックグラウンドを持つ方々が入社され、多様なスタイルの研修を検討していくことも課題となった。
- ・研修ファシリテーターを増やすため、研修ファシリテーター育成を開始した。

■全職員対象

障害者虐待防止・人権擁護研修	
目的と内容	法律の目的、定義、虐待の種類、通報義務の目的を再確認し、繰り返し理解を深めるため、5月、9月、1月に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 法律や法人内の規程等の理解を深めると同時に、不適切なケアとはなにかを考える習慣を持てるよう、自己理解を深める研修への参加も促した。
社会福祉法人敬天会について	
目的と内容	当法人の経営理念、経営方針、人材育成方針、人材育成目標、職場のこだわりについて理解を深める。資料は、新任職員研修No.1を使用する。4月と10月に実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 新任職員研修時に、在職職員も対象として実施。 経営理念を繰り返し伝える機会を設けた。
就業規則について	
目的と内容	就業規則を再確認する機会を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> 新任職員研修時に、在職職員も対象として実施。 就業規則を再確認する機会を設けた。 正しい情報を得ることにより、申請書類や届け出書類についての理解が進んだ。
プリセプターシップ制度について	
目的と内容	プリセプターシップの目的を理解し、プリセプティが安心して働き続けられる職場風土の醸成を図るため。 <ul style="list-style-type: none"> OJT がうまく機能していないと考えられる事故報告やヒヤリハットがあるため、新任職員研修のなかに、プリセプターシップ制度の説明をする機会を設けた。
ふりかえり WS	
目的と内容	『ふりかえり』を習慣化させるためのワークショップを実施。 ①キャリア研修とジョブ・カード作成 ②セルフマネジメント“怒り”について ③事例をもとに考える意思決定支援 ④対人援助職に必要なセルフケア ⑤聞く技術（傾聴） <ul style="list-style-type: none"> 不適切なケア、不適切な支援は、自分の感情や思いに気づけないことも要因と考えられる。そのため、自己理解を深める研修を行い、虐待防止・人権擁護研修へと繋げた。法律を理解することや支援手法を理解するだけでは、不適切なケアは減らないと考えられる。自分と向き合える職員を増やし、『ふりかえり』を習慣化することで資質向上に繋げていく。
■社会福祉法人が果たすべき役割についての学びの機会の提供	
課長	④社会福祉法人の使命と経営の原則、長期ビジョン、アクションプラン2020の全体像、重点課題、中期目標について理解を深める。 ■外部研修 経営協や知障協などの全国大会や、福祉に関する全国レベルの大会等に参加(1回以上/年)
リーダー	③アクションプラン2020を理解する。
マネージャー	■外部研修 【対象：リーダー】 経営協や知障協などの全国大会や、福祉に関する全国レベルの研修大会等に参加(1回以上/年) 【対象：マネージャー】 九州管内で実施される知障協等の研修大会等に参加(1回以上/年)
ミドル/契約(3年以上)	②社会福祉法人の使命と役割の理解を深める。
ミドル/契約(3年未満)	■内部研修
フレッシュ/契約(2年以上)	①社会福祉法人の使命と役割を理解する。
フレッシュ/契約(2年未満)	■内部研修

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、多くの研修が中止となった。しかし、オンライン研修も急激に普及し、活用も進んだが、全体的に外部研修においては、その機会が激減した。
- ・ミドル/フレッシュの階層の職員に対する内部研修については新任職員研修への参加を促した。

■知的障害者福祉協会関係研修

研修名	開催地	日程
全国知的障害関係施設長等会議	神奈川県 → 中止	7/1(木)～2(木)
全国知的障害福祉関係職員研究大会	京都府 → 延期	9/23-9/24 →令和4年1/27-28
障害者支援施設部会全国大会	北海道 → 延期開催	令和3年11月頃
日中活動支援部会全国大会	秋田県 → 延期開催	令和3年10/15
相談支援・就業支援セミナー	神奈川県 → 中止	10/19(月)～20(火)
九州地区知的障害関係施設長研究大会	福岡県 → 延期令和3年度	9/30(木)～10/1(木)
九州地区種別部会・合同研修会	長崎県 → 延期令和3年度	令和3年2/18(木)～19(金)
全国障害者スポーツ大会	鹿児島県 → 延期令和5年	10/24(土)～26(日)

■全国社会福祉法人経営者協議会・鹿児島県社会福祉法人経営者協議会

第8回鹿児島県社会福祉法人経営者大会(zoom)	12/7	1名
社会福祉法人 主任/係長講座	8/26-	4名

■鹿児島県知的障害者福祉協会

人権擁護研修	9/17	6名
施設長等研修会	12/21	2名
家族並びに施設職員研修会 中止	1/24	4名
グループホーム事業所研修会	2/26	3名

■福祉人材・研修センター(階層別研修)

社会福祉施設等新任職員研修(1班)	9/29-30	2名
社会福祉等中堅職員研修	10/1-2	2名
社会福祉施設長等運営管理職員研修	10/1-2	1名

■福祉人材・研修センター(自主研修)

カウンセリング研修(基礎コース 2班)	10/26-27	2名
救急法研修	11/5	1名
IT研修 中止	12/10-11	2名

■福祉人材・研修センター(障害福祉人材育成研修/相談支援従事者研修)

相談支援従事者初任者研修(中期)	8/26	1名
相談支援従事者初任者研修(後期①)	9/25	1名
叱咤管研修及び児発管研修(更新1)	9/11	1名
叱咤管研修及び児発管研修(更新2)	10/28	2名
叱咤管研修及び児発管研修(更新3)	2/19	1名

■福祉人材・研修センター(障害福祉人材育成研修/強度行動障害支援者養成研修)

強度行動障害支援者養成研修基礎研修	10/15	2名
	10/16	1名
	11/18	1名
強度行動障害支援者養成研修実践研修	2/24-25	3名
	3/9-11	2名

■強度行動障害支援者養成研修(エイドケアカレッジ)

強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践研修/zoom)	2/9-11	3名
	2/12-14	2名
	2/23-25	4名
	2/26-28	3名
	3/2-4	2名
	3/9-11	3名
	3/12-14	1名

・強度行動障害支援者養成研修受講者 令和2年度 合計 23名

■鹿児島県社会福祉協議会

福祉サービス相談苦情解決事業研修会(初級編)	9/25	4名
------------------------	------	----

■その他の外部研修

- ・上記外部研修以外に、業務に活かすことのできる研修にも積極的に参加する機会を設け、自己研鑽に繋げ、チームケアの取組みにも活用できた。

研修名	主催	日付	参加者
社会保険事務基礎講座 B コース (7/28, 8/27, 9/30, 10/20, 11/26)	鹿児島県 社会保険協会	6/18	1名
令和2年度応急手当普及員講習会 (8/23, 8/29)	始良市消防本部	8/22	1名
～若手社員のための～社会人フォローアップ研修(zoom)	キャッチワーク かごしま	9/8	1名
鹿児島県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(講義部分)	鹿児島県	9/29-30	1名
企業・店舗・商品 プランディングセミナー	始良市商工会	10/7	2名
企業経営バックアップ!BCP 普及・啓発セミナー	鹿児島銀行 九州経済研究所	10/8	1名
令和2年度「ひきこもり支援関係者のための研修会」	鹿児島県	10/9	2名
令和2年度安全運転管理者等決定講習会	鹿児島県公安委員会	10/16	1名
令和2年度介護セミナー「介護現場で知っておきたい医療知識」	鹿児島県 介護福祉士会	10/27	2名
社会保険合同実務研修会	全国健康保険協会	11/11	1名
令和2年度介護セミナー「緊急時の対応」	鹿児島県介護福祉士会	11/30	1名
令和2年度依存症回復支援研修会	鹿児島県精神保健 福祉センター	12/2	3名
鹿児島県医療的ケア児等コーディネーター養成研修(演習部分)	鹿児島県	12/3-4	1名
令和2年度「生産性向上支援訓練」セミナー③ITツールを活用した業務改善	介護労働 安定センター	12/8	1名
自閉症カンファレンス NIPPON(オンライン)	自閉症カファレンス NIPPON	12/12-15	1名
2020年度 社会福祉士実習指導者講習会	鹿児島県社会福祉士会	12/19-20	1名
キャリアガイダンス(定着率向上支援)オンライン	キャッチワークかごしま	1/19	10名
かごしまおもいやりネットワーク事業「コミュニティーワーカー・相談員研修会(オンライン)」	鹿児島県社会福祉 法人経営者協議会	1/19	1名
虹の家 第14回児童発達支援セミナー(オンライン)	社会福祉法人建昌福祉会	1/23	3名
直営支援型食事提供オンラインセミナー	ナリコマ	1/26	2名
初級リスクマネージャー養成講座 2020(オンライン)	全国社会福祉法人経営者 協議会	2/9-10	1名
POD サービスを活用に向けた個別ワークショップ	富士ゼロックス	2/19	2名
認知症を発症した知的障害者への支援について考える	国立のぞみの園	2/1-3/1	1名
始良市就労支援・相談支援合同研修会	始良市地域自立支援協議会	2/4	5名
令和2年度「第2階あじさい園セミナー」ひとりだちするあなたに～生きること、働くこと～zoom	社会福祉法人 建昌福祉会 あじさい園	2/20	2名
アンガーマネジメント研修会	あいらいさ障害者 就業・生活支援センター	2/27	2名
就職内定者のためのスタートアップセミナー(ビジネス版)	キャッチワークかごしま	3/5	2名
就職内定者のためのスタートアップセミナー(社会人基礎力&コミュニケーション)	キャッチワークかごしま	3/8	2名
全国放課後連 第45回研修会(zoom)	全国放課後連	3/21	1名

■【外部講師による内部研修/介護労働安定センター】

	研修内容	講師	実施日	参加人数
①	チームケアの基本	天の杜合同会社 代表(ファシリター) 社会福祉学修士 他 岡山 隆二氏	5/13(水) 15:00-16:30	28名
②	チームケアの質の向上	岡山 隆二氏	5/20(水) 15:00-16:30	32名
No.1	感染症対策(予防と対策)	専門学校等講師 他 片田 利恵氏	6/17(水) 15:00-16:00	22名
③	チームケアの基本	岡山 隆二氏	7/6(月) 10:30-12:00	26名
No.2	介護記録の書き方	あなぶきメディカル(株)鹿児島国際大学 講師他 中井 康貴氏	7/15(水) 15:00-16:00	23名
④	チームケアの質の向上	岡山 隆二氏	8/11(火) 10:30-12:00	13名
No.3	介護技術(清潔の保持・排せつ)	おむつフィッター1級 貴島 美雪氏	8/19(水) 15:00-16:00	19名
No.4	介護技術(移動・移乗)	株式会社 Health Innobation 代表取締役 斉野 仁氏	10/14(水) 15:00-16:00	13名
No.5	対人援助技術(対ご利用者)	NPO 法人鹿児島県 GH 連絡協議会 理事他 中津 詩穂氏	11/12(木) 15:00-16:00	26名
No.6	ヒヤリハット事例から考える事故防止	岡山 隆二氏	12/16(水) 15:00-16:00	11名
No.7	介護技術(食事介助と口腔ケア)	片田 利恵氏	11/13(水) 15:00-16:00	17名
No.8	利用者、ご家族からの相談・クレーム取扱い	岡山 隆二氏	2/10(水) 15:00-16:00	21名
No.9	リスクマネジメント	社福)松和会 特別養護老人ホーム 泰山荘 施設生活相談員 専門学校講師 満園 晋也氏	2/16(火) 13:30-14:30	18名

①-④人材育成コンサルタント相談

No.1-9 ケア・サポート講習

■ 内部研修(OFF-JT)/ふりかえりWS

障害者支援の基本となる考え方を丁寧に伝え、多くの職員が参加できるよう同じ内容の研修を繰り返し実施。学びから得られた知識や情報を、支援技術に活かし、行動変容に繋がられるよう、研修内容の改善とブラッシュアップを重ね実施した。

研修名(サブタイトル)	実施日	参加人数
全職員対象 虐待防止・人権擁護研修	5/19	23名
ふりかえりワークショップ/【セルフマネジメント<“怒り”について】	5/27	24名
ふりかえりワークショップ/事例をもとに考える意思決定支援	6/10	46名
全職員対象 虐待防止・人権擁護研修	6/17	22名
役職者対象 グループスーパービジョン	7/1	17名
役職者対象 グループスーパービジョン	8/3	15名
役職者対象 社会福祉法人 主任/係長講座 ふりかえりWS	9/1	19名
全職員対象 虐待防止・人権擁護研修	9/18	24名
役職者対象 新型コロナ感染症をめぐるメンタルヘルスの問題 外部講師/zoom	10/1	18名
ふりかえりワークショップ/プリセプターシップ制度について	10/15	20名

役職者対象 コミュニケーションスキル	11/2	18名
ふりかえりワークショップ/プリセプターシップ制度について	11/17	10名
ふりかえりワークショップ/事例をもとに考える意思決定支援	11/18	21名
ふりかえりワークショップ/対人援助職に必要なセルフケア	12/21	16名
全職員対象 虐待防止・人権擁護研修	1/27	15名
役職者対象 自己理解とセルフマネジメント	2/1	15名
グループスーパービジョン	3/4	12名
全職員対象 虐待防止・人権擁護研修	3/18	9名

■外部講師による内部研修(役職者対象)を6回程度、公開講座を3回程度企画予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、企画できなかった。

■預り金等管理状況/預り金管理実績(令和3-03-31現在)

① 預貯金管理

	在籍数	預貯金管理	預貯金預り金額
しらがね	40名	36名	約450百万円
にしきえ	40名	35名	
満天ハイツ	36名	34名	約227百万円
たたえ	11名	8名	約90百万円
計	127名	113名	約767百万円

② 現金管理

	在籍数	現金管理	現金預り金額
しらがね	40名	36名	約142,000円
にしきえ	40名	35名	
満天ハイツ	36名	34名	約59,000円
たたえ	11名	8名	約11,000円
個人		12名	約589,000円
計	127名	127名	約801,000円

※対象外(自己管理)2名(満天ハイツ)

①預貯金+現金 合計 767,801,000円

※現金保管については、毎月のお小遣い(週末ジュース代等)として、おひとりあたり入所2,000円、満天ハイツ5,000円、たたえ3,000円を各事業所で保管管理している。また、成年後見人が選任されておられる方は、現金をお預りしている。

ア 新規の成年後見人制度利用は無し。

イ 現在、法定成年後見人が選任されている方々

司法書士、弁護士が 成年後見人	ご家族が保佐人	ご家族が成年後見人	合計
5名	2名	8名	15名

ウ 預り金の収支状況報告は、5月、10月、11月、3月の4回を郵送で実施しており、この報告に対する確認届の回収率は、以下のとおり。

報告月	5月	9月	2月	3月
対象月	1, 2, 3月	4, 5, 6月	7, 8, 9月	10, 11, 12月
回収率	92.1%	92.3%	90.1%	94.1%

成年後見人	身寄りがない方	身元引受人がおられる方	合計
5名	10名	112名	127名
報告無し	本人への報告	身元引受人へ報告	

- 工 新規利用契約者（下記参照）の住民票異動手続き，国保，年金，療育手帳その他手帳の住所変更を実施。
- 才 日常生活用具給付事業の申請（保護帽 1 名）

■新規利用契約者

令和2年 4月	さちかぜ（男性）3名 さちかぜ（女性）1名	
令和2年 7月	たたえ（女性）1名	
令和2年 10月	さちかぜ（男性）1名	

■契約終了者

令和2年 4月	さちかぜ（男性）1名	遺留者
令和2年 7月	さちかぜ（男性）1名	退所
令和2年 9月	たたえ（女性）1名	退所

- 遺留金品の引き渡し 1 件。

Ⅱ 障害者支援施設さちかぜ(施設入所支援・生活介護事業)

1 評価

- (1) 施設入所、欠員3名、生活介護、新規利用者獲得のため施設入所、生活介護事業の充実を図る。
パミス活動で始良市社会福祉協議会や温泉施設、始良市のイベントにて販売を行い、利用者さんのやりがい達成感に繋がっていた。マッサージ機を導入しゆっくりした活動提供に繋がった。全体での活動スケジュールがなく、毎日の活動内容の継続ができていなかったため、活動グループを作り計画的に進めていきます。
午前は運動。午後からは運動班、リハビリ班、生産活動班、創作活動班が継続できるよう進めていく。
施設入所実員80名。生活介護で2019年度より利用数は増えているが定員に達していないため地域のニーズを把握し今後もPRを継続していく。
- (2) 人権尊重と利用者の意思決定支援の充実。
利用者1人ひとりの人権を尊重した計画、意思決定支援に課題がある。モニタリングや日々の利用者の要望、目標、困りごとを抽出できるよう検討が必要である。グループスーパービジョンの参加者を増やし、利用者一人ひとりの手順書の作成、利用者の困り事の本質を考えられるよう参加案内を続けていく。
- (3) 虐待防止の徹底
内部研修、ミーティング、日々の引き継ぎ時等に振り返りができていなかった。不適切な支援を適切な支援に変えるにはどう取り組みができるか確認が必要。事故報告、ヒヤリハット報告を基にPDCAサイクルに乗せ、サービス等小委員会を行いご利用者が安心、安全に生活が送れるよう進めていく。計画、実施ができていないか見直しが不足しているため、見直しの日を決め適切な支援を継続しより良い支援ができるよう進めていく。
- (4) 人材育成の推進と接遇マナーの徹底
新任職員の育成は、プリセプター制度に沿って、OJTを実施しているが全職員が「できること、できないこと」を把握できていないため、何を不安に思っているか、出来る事は何かを確認が必要である。人材育成チェックシートを活用し、面談、目標計画を立て実施する。
- (5) 2020年TOKYOオリンピック、パラリンピック、鹿児島国民体育大会、障害者スポーツ大会を始良市から応援するプロジェクト。
新型コロナウイルス感染症にて延期になったがSNS等を使い応援を続けていく。
- (6) 感染症対策の徹底。
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者の外泊、外出を控えて頂く、また、通所生活介護、日中一時、短期入所事業、一時営業を控え、感染拡大防止に努めた。職員にて換気、消毒、出勤時のバイタルチェックを継続し新型コロナウイルス感染症陽性者はでていません。今後の変異株の新型コロナウイルス感染症が拡大しているため、基本的予防策を継続していく。

○施設入所支援事業利用状況（定員80名）

	令和2年度	令和元年度
延べ利用者数	28,556	27,914
平均利用者数	78.5	76.3
利用率	98.1%	95.3%

○生活介護事業利用状況（定員80名）

	令和2年度	令和元年度
延べ利用者数	19,224	18,607
平均利用者数	73.7	70.8
利用率	92.1%	88.5%

ア 創作活動

季節行事の装飾品やレクリエーション用品、手芸品、個別での絵画、貼り絵などの作品を正面玄関に展示しやりがい、達成感に繋がった。

イ 屋外活動、リハビリ

屋外活動が少なかったが、筋力低下を予防するためにリハビリ専門職と連携し屋内での運動に取り組んだ。また、正面玄関、シィナス広場、プランターに花を植えました。

ウ 生産活動

パミス活動（軽石加工）、利用者の意向・能力に応じて作業工程を振り分け、個々の能力が発揮できるよう環境を整え、生産活動を支援した。

2 行事実施状況

月日	行 事	参加	
		利用者	ご家族
5/28	スーパー傘月祭	78	0
6/16	6月誕生者外出外出	1	0
6/	6月誕生者外出	1	0
6/22	6月誕生者外出	1	0
9/4	納涼会	74	0
9/25	マテリアパン外出	2	0
9/29	ちょこっと外出	1	0
10/7	敬老会	79	0
10/15	ちょこっと外出	1	0
11/19	ちょこっと外出	2	0
11/20	ちょこっと外出	1	0
11/23	ちょこっと外出	1	1
11/24	ちょこっと外出	1	0
12/12	イルミネーション点灯式	78	0

月日	行 事	参加	
		利用者	ご家族
12/16	ちょこっと外出	1	0
12/17	ちょこっと外出	2	0
12/23	ちょこっと外出	1	0
12/24	クリスマス会	78	0
12/31	ありがとう2020年	75	0
1/1	年始会	75	0
1/29	ちょこっと外出	2	0
2/3	節分	82	0
2/4	故郷訪問	1	0
2/16	ちょこっと外出	1	0
2/17	始良市プレミアム食事会	81	0
2/22	ちょこっと外出	1	0
2/26	ちょこっと外出	1	0
3/30	ちょこっと外出	1	0

3 栄養支援
評 価

- (1) ご利用者の身体の状態把握に努め、随時、食事形態の検討・変更を行い、誤嚥防止に努めた。また、嗜好調査を実施し、ご利用者のニーズや障害特性に応じた提供方法の検討、嗜好、栄養バランスを考慮した摂取しやすい食事の提供や献立内容への工夫、バイキング給食の内容を充実させた。
- (2) 衛生管理に努め、委託業者へ調理技術・衛生等の指導を行い、安全な給食提供を行うことができた。
- (3) 施設入所利用者に最適な栄養ケアを行い、その実務遂行上の機能や方法手順を遂行するため、栄養ケアマネジメントに取り組んだ。
- (4) 令和3年度 4 月から完調品を取り入れた直営での給食運営に向け、ナリコマエンタープ

ライズと協議を行いながら準備を進めた。日清医療食品との委託契約は令和3年3月末日を持って終了。

3-1 給食提供

(1) 食種別提供人数

①さちかぜ

食 種	令和2年度	令和元年度	構成比 (%)
常 食	60	58	75
腎臓病食 1800kcal	1	1	1.25
腎臓病食 1900kcal	1	1	1.25
糖尿病食 1400 kcal	3	3	3.75
糖尿病食 1600kcal	1	0	1.25
糖尿病食 1800kcal	1	1	1.25
脂質異常症食	9	19	11.25
減 塩 食	4	4	5
合 計	80	77	100

②たたえ

食 種	有料	通所介護	生活介護
常 食	4	3	29
脂質異常症食	2	2	1
減 塩 食	2	3	2
糖尿病 1400 kcal	1	1	1
糖尿病 1800kcal	0	1	1
合 計	9	10	34

(2) 食事形態

(ア) さちかぜ

食種	令和2年度	令和元年度	構成比 (%)
一 般	45	42	56.3
一口大	18	18	22.5
刻 み	16	17	20
ペースト	1	0	1.2
合 計	80	77	100

(イ) たたえ

食種	有料	通所介護	生活介護
一般	1	0	20
一口大	3	4	11
刻み	3	3	2
ミキサー	2	4	1
経管栄養	2	1	0
合 計	11	11	34

(3) 嗜好調査

令和2年度は、1回実施し、日常の食事への反映に取り組んだ。また、バイキング・セレクトメニュー等への参考とした。

(ア) さちかぜ

実施期間	対象者
5月25日～6月8日	入所者80名(入院:1名)

(イ) たたえ

実施期間	対象者
5月25日～6月8日	通所介護 8名・生活介護 32名

3-2 給食委員会 開催状況

① さちかぜ

開催月日	議 題	参加者			
4月24日	・年間活動計画 ・T氏食事支援について ・I氏食事支援について ・食堂入室時間について 等	施設長	1	日清	1
		職員	3	栄養士	2
5月29日	・T氏食事支援について ・I氏食事支援について ・T氏食事支援について ・嗜好調査について 等	職員	2	日清	1
		看護師	1	栄養士	2
6月22日	・S氏の食事支援について ・T氏の食事支援について ・S氏の食事支援について ・K氏の食事支援について等	職員	3	看護師	1
		栄養士	2	日清	2
7月31日	・M氏の食事支援について・K氏の食事支援について ・I氏の食事支援について ・H氏の食事支援について ・嗜好調査結果について 等	職員	3	日清	1
		栄養士	2		
8月26日	・T氏の食事支援について ・S氏の食事状況について ・S氏食事提供について 等	職員	3	看護師	1
		栄養士	1	日清	2
9月24日	・K氏の食事支援について ・T氏の食事支援について ・バイキング給食について ・特殊食品について 等	職員	3	日清	2
		看護師	1	栄養士	2
10月23日	・I氏食事支援について ・H氏食事支援について ・H氏食事支援について ・J氏食事支援について ・バイキング給食の振り返り 等	利用者	1	看護師	1
		職員	3	日清	2
		栄養士	2		
11月26日	・M氏の食事支援について ・S氏の食事支援について 等	職員	2	日清	1
		栄養士	2		
12月21日	・T氏の食事支援について ・J氏の食事支援について ・年末年始について 等	職員	3	日清	2
		栄養士	2		
1月26日	・O氏の食事支援について・E氏の食事支援について ・S氏の食事支援について・H氏の食事支援について ・バイキング給食について 等	職員	3	栄養士	2
		看護師	1	日清	2
2月19日	・O氏の食事支援について ・F氏の食事支援について ・バイキング給食について	職員	2	日清	2
		栄養士	2		
3月25日	・M氏の食事支援について・O氏の食事支援について ・ナリコマ導入による食形態の見直しについて 等	職員	2	日清	1
		栄養士	2		

② たたえ

開催月日	議 題	参加者			
4月29日	・年間活動計画について ・M氏の食事支援について等	施設長	1	日清	1
		栄養士	1	職員	2
5月29日	・S氏の食事支援について ・トロミ剤の使用について等	栄養士	2	日清	1
		職員	2		
6月25日	・O氏の食事支援について 等	栄養士	2	日清	1
		職員	2		
7月30日	・O氏の食事支援について ・八宝菜の提供方法 等	職員	2	日清	1
		栄養士	2		
8月24日	・献立について ・T氏の食事提供について 等	栄養士	2	日清	2
		職員	2		
9月29日	・献立について ・バイキングについて	栄養士	2	日清	2
		職員	2		
11月16日	・M氏の状態について情報共有	栄養士	2	日清	2
		職員	2		
12月15日	・O氏の状態について・N氏の食事支援について	職員	2	職員	2
		栄養士	2		
1月15日	・N氏の食事支援について・O氏の食事支援について 等	職員	1	日清	1
		栄養士	1		

Ⅲ 障害者支援施設さちかぜ(短期入所・日中一時支援事業)

■短期入所事業利用状況(定員2名)

	令和2年度	令和元年度
延べ利用者数	64	374
平均利用者数	0.17	1.0
利 用 率	17%	51%

■日中一時支援事業利用状況

	令和2年度	令和元年度
延べ利用者数	389	779
月平均利用者数	5.3	64.9

IV 障害者支援施設さちかぜ(就労継続支援 B 型事業)

1 評価

- (1) 重度高齢化に伴い、利用者様一人一人の状態に合わせた柔軟な生産活動への参加を図り、目標に取り組むことで無理なく個々のペースで仕事ができるように努めた。
新規利用への取組として、児童施設と連携し長期休暇期間を利用し就労体験を行うなどの取組みを行った。
- (2) 屋内作業を中心に障害特性や個別に応じて段階的に、軽作業や体力づくり、調理実習など様々な活動を実施し、障害特性への配慮に努めた。今後は、スケジュールを立てるなど見える化を図り、ご利用者がスムーズに活動へ参加できる取組みに努める。
- (3) 新型コロナウイルス感染症などもあり、社会のしくみが変わってきた事で一般就労はできなかったが、就労されている方の定着は図れた。これまでの作業に加え、新たに働く機会の場を整備し、引き続き一般就労に向けた訓練施設の担い手として、職員の意識の向上に努める。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの中止が相次いだ事もあり、販売は振るわなかったが、害虫駆除や消毒等は定期的に行い衛生的な製造環境に努めた。また、野菜の納品などは期日通りに収める事で収益の確保を図った。令和3年度に向け、新たな販路拡大の準備を行なった。
- (5) 重度高齢化や多様な障害特性に合わせ、利用者様が日中作業に参加できるように、個々の状態に合わせた就労支援に努めた。

2 各事業の実績

就労継続B型事業 総売上 10,892,110 円 (前年比 0.90 倍)

(1) 自主事業

ア 稲作

稲作の作付面積を例年同様、5反で耕作を実施。

GH 満天に販売を実施した。稲作は今年度をもって終了する。

イ 野菜の栽培・販売

令和2年度は、7反の畑地となった。地域企業等(九州新進・JA・ハートフル隼人病院・龍桜高校・始良市社会福祉協議会・NPO 法人)と連携しながら販売・納品を実施した。

(2) パン工房『マテリア』

パン製造スタッフの定着・育成を行い、商品の安定化を図った。また、イベントに合わせた新商品の開発を行い、新しい販売方法を模索した。

ア 蒲生物産館「くすくす館」は大幅な減少、「龍桜高校」におけるパン販売は、安定的な売り上げとなっている。

イ 店頭販売は減少傾向にある。

ウ ハートフル隼人病院は納品数が減少し売り上げにも影響している。

エ その他の医療機関・介護施設・保育園への定期納品の実施。

(3) 利用状況・平均工賃実績

ア 利用状況

令和2年度のご利用契約者数は、5名の減(38名)となり、前々年度の利用率を下回った。ご利用者の重度高齢化に伴い生活介護への移行が主な要因である。

また、工賃実績については、コロナウイルスの緊急事態の影響が大きく、在宅の利用者様の利用日数が減少し、平均工賃額の減少にも繋がった。

就労継続支援事業 B 型 (定員 30 名)

	令和2年度	令和元年度
延べ利用者数	6,092	8,181
平均利用者数	30.9	31.8
利用率	94%	106%

イ 利用者工賃

	目標工賃	工賃実績
令和2年度	13,300 円	12,348 円
令和元年度	13,000 円	12,477 円

V 地域支援さちかぜ(就労移行支援事業)

1 評価

- (1) 一般就労に向け訓練施設を担っているが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく企業の障害者雇用も減少し、求職活動は大変厳しい状況であった。
- (2) 企業で実習する機会や場所の確保も厳しい状況であり、在宅の利用者様が他県の方との接触があるなど感染予防の観点から在宅利用になり、継続的な企業の実習を行うことが困難であった。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響があり、連携する会議等が中止になったが、養護学校の実習受け入れなど新規利用への取り組みを図った。
- (4) 内部研修を通して権利擁護、虐待防止について職員の意識の向上を図った。

2 行事实施状況

※毎月15日 工賃支給日 菓子・ジュース類購入の買い物訓練実施。

Ⅵ 満天ハイツ(共同生活援助事業介護サービス包括型)

1 評価

- (1) コロナ禍において、外出・帰省・面会等の自粛を強いられ、ご利用者にとっては制限の多い期間が続いている。手紙・電話・新しくZOOM等を活用し、家族との交流が取れるよう取り組んだ。

利用者のストレス軽減を目的とした気分転換が図れるよう努めている。新しい生活様式や感染予防対策など、ご利用者に理解頂ける様丁寧に説明し理解を得ながら、小規模であるが外出や、満天ハイツ内での忘年会を行うなど、工夫しながら余暇の提供を行うことができています。

- (2) 2月、数名の風邪症状を発症したご利用者を、感染症対応マニュアルに従い、看護師と連携し、隔離静養の対応をとる。その後、感染者数は増えることなく早期対応ができたと感じている。

年々、定期受診や集団検診等により新たな疾患が見つかるケースが増えている。利用者の体調管理等、看護師と連携して早期対応できている。

利用状況（定員 37 名）

	令和2年度	令和元年度
延べ利用者数	13,232	13,331
平均利用者数	36.2	36.4
利用率	98.0%	98.4%

※ R2.11月に1名退所。利用者2名が入院（うち1名は、1か月程入院される）。

2 行事実施状況

日付	行事	利用者数	日付	行事	利用者数
4/12	花見(敷地内)	36名	12月	散髪外出	27名
6月	散髪外出	29名	12/8	満天忘年会	34名
7月	買い物外出(短時間)	34名	12/8	忘年会(テイクアウト)	34名
9/19	くじら合同調理実習	11名	12/19	ねったぼ作り	34名
9-10月	散髪外出	30名	12/31	ありがとう2020年	33名
11/21	くじら合同調理実習	12名	3/7	にしきえ校区ペタンク大会	8名

Ⅶ クリエイティブサポートくじら(放課後等デイサービス)

1 評価

- (1) 日々の療育支援計画を作成し個々の特性に応じて、小集団での活動の提供を行うことができた。また、昼礼や療育活動後の振り返りを行なうことで一人ひとりのニーズに特化した支援目標を共有することができた。長期休暇や学校振休日に生活訓練として調理体験などの食に関する体験の場を設定し、実際に役割分担をしながら自立に向けた支援を行うことができた。
- (2) 定期的に担当者会議の実施や、日々の送迎にて保護者や学校との連携を図り児童の状況把握を行いながら、療育支援活動に繋げることができた。また新型コロナウイルス感染症にて緊急事態宣言が発令し学校が休校となるが養育支援が必要な子どもの受け入れを行った。集団生活での感染症予防に細心の注意を払いながら利用者の安全確保に努めた。

○利用状況（定員 10 名）

	令和2年度	令和元年度
延べ利用者数	3,113	2,662
平均利用者数	10	8.5
利用率	99.8%	84.5%

○活動実施状況

月	療育活動	主な行事
4月	① 音楽療法(コロナで中止) ② 制作遊び(母の日) ③ 運動遊び(散歩) ④ 感覚遊び(園芸) ⑤ 調理体験(サンドイッチ)ピクニックと合同(4/18実施)	・ピクニック外出(感染症対策の為、くじら広場にて実施) ・交通安全教室2日間(コロナで中止) ・GW外出2日間(コロナで中止)
5月	① 音楽療法(コロナで中止) ② 感覚遊び(園芸) ③ 運動遊び(散歩) ④ 調理体験(肉うどん等)コロナで中止	・GW外出(コロナで中止) ・芋植え体験(たたえ合同)(5/15実施) ・誕生会(4・5・6月生)(くじらにて実施)(5/30実施)
6月	① 音楽療法(6/27午後実施) ② 制作遊び(父の日) ③ 運動遊び(散歩) ④ 感覚遊び(園芸) ⑤ 調理体験(カレー)(6/20実施)	・避難訓練(地震)(6/27午前実施)
7月	① 音楽療法(7/4実施) ② 制作遊び(七夕飾り) ③ 運動遊び(散歩) ④ 感覚遊び(園芸) ⑤ 水遊び(7/28実施)	・七夕会(7/4, 7/7実施) ・自立訓練(昼食) ・親子合同交流会(コロナで中止) ・職場体験→エンジョイワークデイ(7/24実施)
8月	① 感覚遊び(園芸) ② 音楽療法 ③ 水遊び(くじらプール) ④ 運動遊び(散歩) ⑤ 就労体験及び生活介護体験(8/17~19, 8/24~27実施)	・誕生会(7・8・9月生)(8/29実施) ・買い物外出(マクドナルド, セブンイレブン)(8/10実施) ・サマーデー(くじらにてスイカ割 8/11実施, かき氷 8/12実施) ・学童交流会(すすくさんと川遊び)(8/12実施) ・社会科見学→社会科遠足へ変更(平川動物園 8/1実施, かごしま水族館)(8/3実施) ・自立訓練(昼食) ・体験学習(デイキャンプ)(丸岡公園)(8/22実施)
9月	① 音楽療法(9/12実施) ② 運動遊び(散歩) ③ 制作遊び(ハロウィンフェスティバル) ④ 感覚遊び(園芸)	・避難訓練(火災想定)(9/22実施) ・敬老会(たたえ合同)(9/21実施) ・親子合同遠足(平川動物園)(9/26実施)

	⑤ GH第3満天合同調理体験(サラダうどん, おにぎり) (9/19 実施)	
10月	① 音楽療法(10/3 実施) ② 制作遊び(ハロウィン) ③ 感覚遊び(園芸) ④ 運動遊び(散歩) ⑤ 調理体験(ごはん・焼き鳥) (10/17 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・1日遠足(川内宇宙館) (10/24 実施) ・ハロウィンフェスティバル(10/31 実施) ・芋掘り(くじらにて実施) (10/10 実施)
11月	① 音楽療法(11/14 実施) ② 感覚遊び(園芸) ③ 運動遊び(散歩) ④ GH第2合同調理体験(おでん, おにぎり, ゼリー) (11/21 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会(10・11・12月生) 曾木の滝(滝のや) (11/28 実施) ・就労合同収穫祭(施設内販売) (11/23 実施) ・体験学習(映画) (11/7 実施)
12月	① 音楽療法(12/12 実施) ② 運動遊び(散歩) ③ 制作遊び(流木クリスマスツリー) ④ 制作遊び(ミニ門松) ⑤ 感覚あそび(園芸) ⑥ 調理体験(煮込みラーメン・ごはん) (12/19 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会(くじらにて実施) (12/25 実施) ・忘年会(くじらにて実施) 焼肉(12/30 実施) ・餅つき(くじらにて実施) 大福(12/26 実施)
1月	① 音楽療法(中止) ② 感覚遊び(園芸) ③ 運動遊び(散歩) ④ 調理体験(カップラーメン, ごはん, サラダ) (1/23 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・初詣外出 2日間 (春日神社, 精矛神社) (1/6,1/7) ・陶芸体験(くじらにて実施) (1/330 実施)
2月	① 音楽療法(中止) ② 感覚遊び(園芸) ③ 運動遊び(散歩) ④ たたえ合同制作(バレンタイン) (2/13 実施) ⑤ 調理体験(ピザトースト, スープ) (2/20 実施) ⑥ 豆まき(療育活動にて実施) (2/3 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生会(1~3月生) まるおか桜苑 ・親子ボウリング体験(国分スターレーン) (2/23 実施)
3月	① 運動遊び(散歩等) ② 音楽療法(中止) ③ 感覚遊び(園芸) ④ ひなまつり(療育活動にて実施) (3/3 実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・調理体験, 卒所式(くじらにて実施) (3/20) ・乗り物外出(嘉例川~栗野) (3/27 実施) ・お花見外出(まきばドーム・垂水周辺ドライブ) (3/29 実施)

Ⅷ 共生型地域自立支援センターたたえ

1 評価

(1) 【生活介護】

- ① 令和2年度中の新規ご利用者は5名。養護学校卒業生が1名、地域からの利用が4名であった。一方、利用終了者は1名（家族事情のため）という結果であった。延べ利用者数、一日平均利用者数ともに昨年度より増加となった。収益も増収となった。
- ② 新たに身体障害のご利用者の受入も開始した。ご利用者の高齢化・重度化と合わせ、生活介護を利用する目的や障害種別の多様化が表面化してきた。
12月より、より多様な活動を提供する為に、その日ごとに活動担当者を振分け、活動を提供することが出来るように取り組んだ。

利用状況（定員20名）

	令和2年度	令和元年度
延べ利用者数	5,324人	4,564人
一日平均利用者数	20.2人	18.0人
利用率	100%	90%

(2) 【地域密着型通所介護・総合事業】

- ① 令和2年度中の新規ご利用者は2名。地域からの利用であった。一方、利用を中断・終了する利用者は3名であった。長期の入院や体調不良に伴い、利用を継続的に利用できないケースも増えてきている。
- ② 新たに、看護師によるリハビリを強化し、個別機能訓練加算の算定を開始している。

利用状況（定員15名）

	令和2年度	令和元年度
延べ利用者数	2,554人	2,424人
一日平均利用者数	8.2人	8.5人
利用率	54%	57%

(3) 【住宅型有料老人ホーム】

- ① 令和2年度当初は、11部屋満床であったが、ADL低下や風邪症状にて入院する利用者が定期的にみられた。1名は有料老人ホームでの医療ケアが困難となり退居となった。
- ② コロナ禍の影響もあり、故郷訪問の実施が1件のみとなった。またボランティア等の地域の住民さんの受入も減少となった。
- ③ 利用者の重度化・高齢化に伴い、日常的な医療ケアや入院加療が必要な利用者が増えている。また医療機関への通院事態が困難な方も多く、コロナ禍にて益々その傾向が強くなった。内科・歯科の治療は、訪問診療（往診）にて対応している。

【令和2年度入院状況】

利用者名	病名	入院期間	病院
K様 男性	肺炎	3月8日～4月6日	加治木温泉病院
M様 女性	ADL低下	6月19日～退所	加治木温泉病院
O様 女性	尿路感染症	9月1日～9月18日	加治木温泉病院
K様 男性	肺炎	9月9日～10月20日	加治木温泉病院
K様 男性	肺炎	10月29日～現在	加治木温泉病院
M様 男性	糖尿病 内服調整	11月13日～11月30日	大井病院

H様 女性	肺炎	1月5日~1月20日	加治木温泉病院
H様 女性	肺炎	2月4日~2月13日	加治木温泉病院
M様 男性	感冒症状 精査の為	2月7日~2月17日	大井病院

2 行事実施状況

日付	行事	日付	行事
4月	お花見外出	10月	遠足 誕生会
5月	遠足 誕生会	11月	買い物外出
6月	買い物外出	12月	クリスマス会 餅つき
7月	社会見学	1月	
8月	そうめん流し 誕生会	2月	節分 誕生会
9月	くじら合同敬老会	3月	

Ⅸ 生活支援センターさちかぜ(相談支援事業)

1 評価

- (1) 新型コロナウイルス感染症予防をしながら様々な相談に対応する事でその都度解決に導いている。連携を図らないといけないケースでは、基幹センターや子供相談センター等、関係機関と連携しながら解決を図っている。各種部会や委員会に参加し、始すくファイル普及のためのチラシの作成配布や、研修を企画するなど地域の障害福祉理解の取り組みを行った。地域活動へのボランティア参加についてはコロナ感染症のリスクを考え、中止としたが、リスクを検討しながら協力をしていく。
- (2) 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、地域の感染症の状況を見ながら、対面での話し合いや、電話、文書、オンラインによる情報の共有等、状況に合わせたモニタリングを行なう中で連携から見えてきた本人の強みや新たな希望を反映できるように取り組んだ。子供さんの計画相談については教育機関、保育園、保健師等関係機関との連携を深めた。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の為、親子相談会などがすべて中止になり、保育園等も支援で入れなくなるなど、支援が減ったが、本年度から取り組んだ個別相談会は少しずつ依頼が増えてきている。
- (4) 新型コロナウイルス感染症の影響で研修も減り、会議等も Zoom となるなど変化したが、参加し連携を図った。また、課内会議も週1回は行い、グループスーパービジョンを行うことで職員の質の向上を図った。

支援内容内訳						
福祉サービスの利用等に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	家計・経済に関する支援
117	4	48	111	16	26	13

支援内容内訳				
生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他
23	11	17	23	1

2 利用状況

(1) 障害者相談支援事業 相談支援方法

	令和2年度 合計	令和元年度 合計
電話・来所	304	335
訪問	108	111
合計	412	446

(2) 特定相談支援事業 サービス等利用計画作成数

	令和2年度 合計	令和元年度 合計
サービス利用支援	284	292
継続サービス利用支援	611	466
合計	895	758

(3) 障害児等療育支援事業

ア 事業実施数

	令和2年度 合計	令和元年度 合計
在宅支援訪問 療育指導事業	57	122
在宅支援外来 療育指導事業	1	4
施設支援一般 指導事業	21	24
合計	79	150

イ 派遣専門職

	臨床 心理士	言語 聴覚士	作業 療法士	理学 療法士	保育士	音楽 療法	歯科 衛生士	公認心 理士	社会福 祉士	その 他
始良市	3	7	6	8	0	1	1	4	1	5

3 療育支援事業・会議・研修等実施状況

月	会議等	研修等
4	○始良市相談支援部会	
5	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○第1回障害児等療育支援連絡会議	
6	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○第1回始良市地域自立支援協議会 ○第1回始良市特別支援連携協議会	
7	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会	○就学に関する説明会
8	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会	
9	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○第3回障害児等療育支援連絡会議	○医療的ケア児コーディネーター研修（講義）
10	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○始良市子ども・子育て会	○サービス管理責任者更新研修 ○ひきこもり支援関係者のための研修会 ○強度行動障害基礎研修
11	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○第4回障害児等療育支援連絡会議	○指定特定相談支援事業者等集団指導
12	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会	○医療的ケア児コーディネーター研修（講義） ○医療的ケア児等コーディネーター養成研修（ファシリテーター） ○社会福祉士実習指導者講習会 ○依存回復支援研修会 ○ITツールを活用した業務改善研修
1	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○第4回始良市地域自立支援協議会 ○第5回障害児等療育支援連絡会議	○虹の家児童発達支援セミナー ○かごしまおもいやりネットワーク事業コミュニティ ワーカー・相談員研修会 ○子ども部会研修会
2	○始良市子ども部会 ○第2回始良市特別支援連携協議会 ○始良市子ども・子育て会議 ○保育所等への支援に関するネットワーク会議	○強度行動障害実践研修 ○始良市就労支援・相談支援合同研修会 ○第2回あじさい園セミナー
3	○始良市相談支援部会 ○始良市子ども部会 ○第6回障害児等療育支援連絡会議	

X 保健看護分野

1 評価

<日常の健康管理>

- ①検温を午前・午後に測定。異常のある時は通院を行い、軽易の症状であれば常備薬で対応した。
- ① 胃がんリスク検診の結果を基に胃カメラを実施していく予定であったが、コロナ禍の状況、
- ② 市内の病院を受診するリスクを考え、実施に至らなかった。今年度は、少しずつでも実施していく。
- ④感染症対策を徹底しているためか、インフルエンザ・感染性胃腸炎の流行はなかった。引き続き、感染症対策の徹底に努めていく。

<新型コロナウイルスの対応について>

利用者については、通院も極力、代理受診とし、外出も控えて頂き施設内への立ち入りや面会についても制限を設けた。
職員については、マスク着用を徹底した中での支援とし、体調管理や行動を含め注意喚起を行った。

2 健康状態

(1) 検診一覧（さちかぜ 対象利用者 80名）

年	月	日	対象者	受診者	検査内容	実施医療機関
令和2	10	9	40	36	マンモグラフィ・乳房エコー・子宮がん	県民総合保健センター
	11	5	80	80	集団健診（検尿血圧・採血・心電図・腹部エコー・胸部レントゲン・診察）	県民総合保健センター
	11	12	80	79	インフルエンザ予防接種	内倉医院

検診一覧（満天ハイツ 対象利用者 36名）

年	月	日	対象者	受診者	検査内容	実施医療機関
令和2	10	9	19	17	マンモグラフィ・乳房エコー・子宮がん	県民総合保健センター
	11	5	36	36	集団健診（検尿血圧・採血・心電図・腹部エコー・胸部レントゲン・診察）	県民総合保健センター
	11	12	36	36	インフルエンザ予防接種	内倉外科医院

(2) 内服者数（さちかぜ）

対象者	令和2年度	令和元年度
男子利用者	36	36
女子利用者	36	36
合計	72	72

内服者数（満天ハイツ）

対象者	令和2年度	令和元年度
男子利用者	6	11
女子利用者	16	16
合計	22	27

満天ハイツ男性内服者の減少は、骨粗鬆症の改善がみられたものと考えられます。

(3) 通院診療状況(令和2年4月~令和3年3月)

診療科目	男性	女性	合計	精神科	男性	女性	合計
脳外科	48	13	61	神経内科		3	3
内科	218	216	434	婦人科		8	8
外科	24	18	42	形成外科	1		1
整形外科	31	46	77	呼吸器科	5		5
歯科口腔外科	256	371	627	耳鼻咽喉科	29	11	40
循環器科	15	26	41	眼科	6	25	31
泌尿器科	77	3	80	皮膚科	20	10	30

(4) 入院状況(令和2年4月~令和3年3月)

利用者名	病名	入院期間	病院
男性 I	肺炎	4月2日~4月14日	青雲会病院
男性 A	睡眠時無呼吸症候群	5月18日~5月19日	大井病院
男性 I	右腎臓癌	5月25日~6月1日	鹿児島大学病院
男性 S	ADHD	6月5日~退所	始良病院
男性 H	上部消化管出血(疑)	6月11日~6月11日	青雲会病院
女性 J	低酸素脳症	6月20日~6月26日	大井病院
女性 S	細菌性腸炎	6月28日~8月14日	大井病院
女性 I	てんかん重積発作	7月9日~7月10日	青雲会病院
男性 A	てんかん重積発作	7月29日~8月10日	大井病院
男性 Y	胆のう炎・胆管炎	8月5日~9月12日	青雲会病院
男性 T	低ナトリウム血症	10月20日~11月2日	大井病院
男性 K	膀胱癌	10月20日~10月26日	川原泌尿器科
男性 O	脳梗塞	11月12日~R3. 1月25日	大井病院
女性 Y	下顎切創・下顎骨骨折	11月15日~11月17日	鹿児島大学病院
男性 T	貧血	11月19日~12月7日	大井病院
男性 H	急性骨髄性白血病	11月27日~R3. 1月22日	鹿児島医療センター
男性 K	結腸捻転(疑)	R3. 1月6日~1月20日	大井病院
女性 I	右卵巣腫瘍	R3. 1月18日~1月27日	鹿児島大学病院